

第 55 回 理事会議事録

場所 オープンカフェポポ 岡山県苫田郡鏡野町小座 502-3

2022 年 12 月 17 日(土) 午後 13 時 00 分～理事会を開催した。

当団体の理事総数 7 名

出席理事 7 名

山本康世、浅野肇之、森内忍、都築真敏

國吉和美、服部みさと、山本礼知

出席正会員 4 名

砂子 浩、小西竣也、渡邊泉月、玄馬誉士

出席正会員(オンライン) 1 名

米森 千尋

出席監事(オンライン) 野坂 和夫

以上のとおり理事の過半数以上が出席及び欠席者からは委任状を受理したので、理事長山本康世が議長となり、開会を宣し議事に入った。

議案 当団体の活動報告及び今後の活動予定について

先月からの活動報告及び今後の課題、予算案、活動の広報について協議、検討を行った。

概要は次のとおりである。

(1)活動報告事項

○会員数、寄付金報告

・2022 年度累計（4-3 月分）

賛助会費	10 口	30,000 円
正会員会費	22 口	110,000 円
寄付金		6,093,080 円
寄付金（今月）	71 件	1,768,857 円

【寄付金の内訳】

READYFOR 継続	11 月 53 件	111,000 円
シンカブル	12 件	56,857 円
GCOOP 様		1,500,000 円

○相談者数報告

・2022 年度（2022 年 12 月）

DV 被害	女性 24 件	男性 4 件	子ども 1 件
DV 加害	男性 1 件		
貧困母子家庭	計 3 件		
ストーカー被害	計 2 件		
行政機関団体その他	計 10 件		

○保護人数及び保護依頼状況(2022 年 12 月)

保護依頼	計 14 件	退所 1 名	継続 5 名	新規 7 名
保 護	計 12 名	（同伴児童含む）（詳細は別紙参照）		

(2)主な事業の課題と予算の審議事項

1. 一時保護シェルター運営について

- ・シェルター入居者への食糧及び生活用品等の支援
寄付によるふるさと納税返礼品での食料支援継続中
岡山 NPO センターを通じての食糧寄付
株式会社 GCOOP 様より寄付金と生活用品の寄付をいただき、保護シェルター、アウトリーチ支援家庭に配布
ライオンズクラブ、支援者（一般）からの食糧寄付
Amazon みんなの応援プログラムで生活用品、子ども用日用品など寄付依頼
- ・シェルターの現状について
上記に数字を記載している。

2. 活動についての報告（12月概要）

- ・インターンシップ振り返り会（岡山 NPO センター担当、新見公立大学担当教員）
- ・FM コザ 李さんとラジオの打合せ（5日）
- ・NPO 法人おかやま妊娠 SOS しえるとさんがオリーブの家に訪問し、保護シェルターを見学された。（8日）
- ・パイロット事業で融資を受けているノンプロフィットファイナンス事業報告会に参加
⇒理事長と事務局長が意見交換の場に登壇し、現状を共有した。（8日）
- ・JAMMIN 京都の代表とミーティング。NPO の T シャツクラウドファンディング(9日)
- ・FM コザ沖縄ラジオリバティに出演。団体の活動などを発信（17日）
- ・岡山県議会議員棟、民主県民クラブ控室にて鳥井県議会議員と情報共有。（20日）

2. DV 被害者セーフティーネット強化パイロット事業

（1）今後、倉敷、県南の業務、SNS の取り組みを強化

⇒ウィズアップ倉敷からの紹介で保護シェルターへの保護が決まったケースもあり、連携が少しずつできている。また、若者の SNS 相談については、件数も増加傾向にある。

（2）第 2 回カンファレンス実施に向けて

2023 年 1 月 14 日に津山リージョンセンターペンタホールでカンファレンスを実施。

第 1 部: 団体発表・講師（案）

1. 連合岡山 西崎 様 (14:05~14:20)
2. OHK 竹下 様 (14:25~14:40)
3. 倉敷市男女共同参画課 (14:45~15:00)
～休憩（10 分間）～
4. 泉さま 心と身体のバランス整体 笑未 (15:10~15:25)
5. 岩本 華子（奈良教育大） 様 (15:30~15:50)

(3) DV被害のマニュアル冊子を作り配布する。(個別、総合マニュアル)

- ① 現状、予防・コミュニケーションに関しての情報が不十分。なので、そこを強化したようなマニュアル冊子を作成予定。
- ② 現段階は、コピーの様なもの。今後は、我々のデータも反映したもので、もっとちゃんとした感じの冊子を作成し配布したい。
- ③ 個人に向けて、色々なDVのタイプに合わせた個別のHOW TOを記載したのも考えている。→個別のプログラムとして提供。また、プログラムを体験した人には、FBをもらい、効果検証を行う。

4.その他

- ・活動地域についてのお話。理由の説明(前回の理事会後も定期的に理事内で検討)
⇒利用者のために行政との連携が取りやすい地域での活動を考えており、岡山県総社市での活動の拡大について検討し、全員一致で承諾。事務所物件についても事務局が提示して物件で承諾。
- ・KOTOMO 基金12月の申請完了。
- ・岡山県総社市休眠預金事業シェルター、増設物件について
⇒申請完了、採択された場合の有給雇用も承認された。
- ・REDYFORの返礼品、スタッフと利用者からのメッセージ集送信済み(12月27日)

【寄付金申請、内示あり】

- ・公益財団法人日本フィロソフィー協会寄付プログラム→中国ブロックより選出
- ・グッドガバナンス認証団体へAmazonジャパンより寄付

【検討課題と今後の予定】

- ・学習支援の来年度の予算について企画検討。民間助成金申請予定。
- ・理事長の交代と今後の役職についての検討を行った。現理事長の今後の役職とオリーブの家の活動の広がりと可能性のための検討を引き続き行っていく予定。
- ・REDYFOR 休眠預金事業の1月体験学習先訪問、予約完了。ティアハイム小学校。

(下記事項については全員で確認及び作業)

- 奇数月に名簿のチェック
- 寄付者への領収書・文章送付は、発生次第随時行う(Ready for 以外も)
- 事務所での整理整頓、書類整理等の課題については、随時各担当者主体に行う

☆次回理事会開催予定☆

日 時 2023年1月21日(土) 午後13時00分～午後15時00分

場 所 オープンカフェポポ 岡山県苫田郡鏡野町小座 502-3

理事長、理事及び会員により当団体の今後の活動方針の協議を執り行った。事業課題と予算及び資金調達について話し合い、その承認の可否につき審議した結果、以下のとおり全員一致をもって承認可決した。

記

今後の活動予定及び方針等について、承認する。

以上をもって議事を終了したので、議長は午後15時00分に閉会を宣した。

上記の決議を明らかにするため、この議事録を作成し、議長及び本会議で選出された議事録署名人2名が以下に記名押印する。

2022年12月17日

特定非営利活動法人オリーブの家 理事会

議長 理事長 山本 康世



出席理事 國吉 和美



同 服部 みさと

